

Photo: Yasushi Ichikawa

THE PROLIFIC WORLD
of

TOGO MURANO

村野藤吾の建築

ARCHITECTURAL MODELS

模型が語る豊饒な世界

2016.3.14.mon - 6.11.sat 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

◆開館時間 10:00-17:00 | 入館は16:30まで ◆休館日 日曜日・祝日

◆観覧料 一般 200円 | 大学生 150円 | 高校生以下無料 | 京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料で入場できます。

村野藤吾の建築

模型が語る豊饒な世界

村野藤吾（1891～1984年）は、1918年に早稲田大学理工学部建築学科を卒業後、大阪の渡辺節建築事務所で設計実務を学び、1929年に独立して自らの事務所を設立、戦前戦後を通じて半世紀以上に及ぶ長い間、関西を中心に精力的な設計活動を展開し、名作と呼ばれる数多くの建築作品を遺した日本を代表する建築家の一人です。代表作には、森五商店東京支店（1931年）、そごう百貨店（1935年）、宇部市民館（1937年）、世界平和記念聖堂（1954年）、大阪新歌舞伎座（1958年）、都ホテル佳水園（1959年）、日本生命日比谷ビル（1963年）、千代田生命本社ビル（1966年）、西宮トライアスチス修道院（1969年）などがあり、その幅広い知識と豊かな感性、素材とディテールにこだわった職人的な方法から生まれ出された陰翳に富む自在な造形は、他の建築家の追随を許さない独自の建築の世界を生み出してきました。

彼の没後の1994年に、設計作業の内実を示す5万点を超える貴重な設計原団が、遺族から京都工芸織維大学の美術工芸資料館に託されました。これを機に、学内の教員と外部委員から構成された村野藤吾の設計研究会が設立され、収藏へ向けた整理が進められ、1999年から、その成果を公開することを目的に、延べ13回にわたって村野藤吾の建築設計図面展が開催されてきました。同時に、これらの展覧会では、毎回、建築の設計を志す学生たちが、設計原団を読み取って、精巧な模型を制作してきました。

本展覧会では、目黒区美術館の協力の下、そうして制作された歴代の模型の中から80点を一堂に集め、関連する設計原団や村野藤吾のスケッチ、竣工写真や現況写真と共に展示します。設計原団からは読み取りにくい建物全体の構成や細部の造り込み、周到に考え抜かれたスケール感や絶妙な各部のプロポーションなど、村野が求めたヒューマニズムを基調とする豊饒な建築世界に触れていただければ幸いです。

記念シンポジウム 模型が語る村野藤吾建築の魅力

・講師：長谷川亮（建築評論家、武蔵美術大学名誉教授、東京造形大学客員教授）

西村征一郎（京都工芸織維大学名誉教授）

竹内次男（京都工芸織維大学名誉教授）

石田潤一郎（京都工芸織維大学教授）

・司会：松隈 洋（京都工芸織維大学教授）

・日時：4月23日（土）14:00～17:00

・場所：京都工芸織維大学 1号館0111号講義室

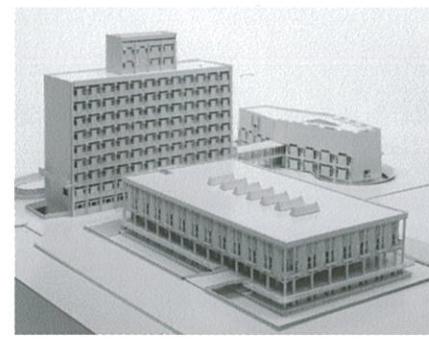
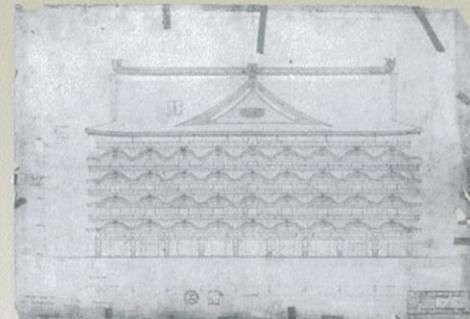
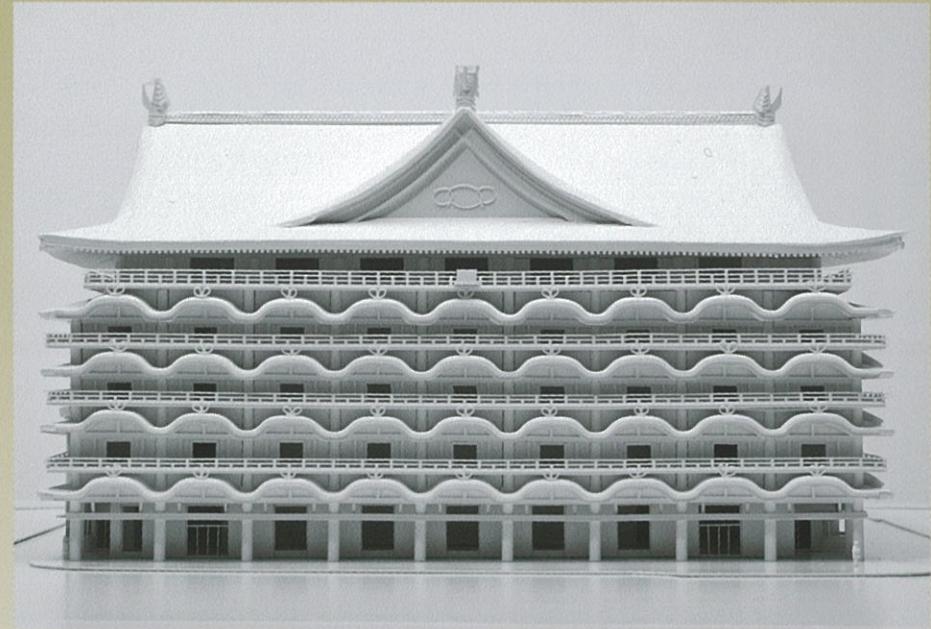
・入場無料、申込み不要、当日先着順（定員130名）

主催：京都工芸織維大学美術工芸資料館

企画協力：公益財團法人目黒区芸術文化振興財團 目黒区美術館、

村野藤吾の設計研究会

協力：MURANO design



1. 大阪新歌舞伎座 | モデル
2. 大阪新歌舞伎座 |撮影:市川靖史
3. 大阪新歌舞伎座 |立面図AN.4986-52
4. 神戸新聞会館 | モデル
5. 都ホテル(現・ウェスティン都ホテル京都)佳水園 | モデル
6. 尼崎市庁舎 | モデル

表 手前から奥に [左列]：読売会館・そごう東京店、大阪ビルヂング八重洲口、東京都庁計画案、千代田生命本社ビル、日本興業銀行本店、[中央列]：西宮トライアスチス修道院、世界平和記念聖堂、日本生命日比谷ビル、新高輪プリンスホテル、[右列]：宇部市民館、早稲田大学文学部、大阪新歌舞伎座（すべて竣工時の名称）

* 背面に記載の模型のうち佳水園は縮尺1/100、その他すべて縮尺1/200 |撮影:市川靖史



地下鉄：
京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅下車1番出口から徒歩8分
バス：
京都バス「高野泉町」下車、徒歩10分

京都工芸織維大学
美術工芸資料館
Kyoto Institute of Technology Museum and Archives

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
tel.075-724-7924 www.museum.kit.ac.jp